

NPO法人ぐんまリユース食器センターと群馬県とまきばプロジェクトの協働について

協働事例の概要

新型コロナウイルスの感染拡大の影響は、県内の多くの産業に甚大な被害を及ぼしており、特に、飲食店は、これまでにない苦境に立たされています。そこで、県内飲食店を応援する取組として、群馬県では「GTO (Gunma Takeout O-e-n) プロジェクト」を立ち上げました。第1回「県庁前 sunset キッチンベース」を令和2年7月29日、第2回は8月5日 17:00～県庁前広場にて、各3台のキッチンカーによる軽食及びアルコールの販売。ゼロ宣言としてリユース食器の使用。お客は県職員のみ限定(参加名簿に記名、体温測定)。



NPO 法人ぐんまリユース食器センター

<http://gunma-reuse.jp/>

代表 高橋美律子

住所 群馬県伊勢崎市日乃出町 285-1

主たる活動

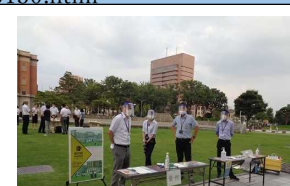
リユース食器の使用を通して、人々が地球の環境問題に目を向け、持続可能な循環型社会を作る。



群馬県イベント産業振興課 MICE 推進係 気候変動対策課ゼロ宣言推進係

https://www.pref.gunma.jp/04/cp01_00001.html

<https://www.pref.gunma.jp/07/b1600150.html>



まきばプロジェクト base on the green project

<https://makiba.life/>

代表 秋山麻紀

住所 群馬県伊勢崎市

主たる活動 イベントの企画・実施。
カルチャー教室。

コロナに苦しむ飲食業に、地元金融機関と協力し、キッチンカーの創業支援(まきばローン)。



協働における役割

リユース食器を用意。イベント当日は終了時まで、回収コーナーにて食器の汚れを落としながら回収。使用済の食器を持ち帰り、食器を洗浄。一般的にイベントでは、ほとんど使い捨て容器が使用されている。群馬県の「プラスチックごみゼロ宣言」を受け、マラソンなど年数回リユース食器を提供。

協働における役割

イベント産業振興課:まきばプロジェクト キッチンカーによるイベント実績のある、まきばプロジェクトにノウハウを依頼。

気候変動対策課:ぐんまリユース食器へ、食器の依頼。イベント当日は、リユース食器センターのスタッフと食器の回収。

県職員:リユース食器を利用して、環境へ配慮する。
飲食をして、飲食業を支援する。

協働における役割

・キッチンカーの手配。当日はテーブルなど備品持ち込み。配置などコロナ対策をし、準備。

・キッチンカーで利用するリユース食器のとりまとめ。食器の種類、数量などをまとめて、県へ連絡。イベント当日はリユース食器を各キッチンカーへ配布。

協働したことの相乗効果

ニューノーマルのイベントの実証実験。群馬県「ゼロ宣言」に基づいてイベントの企画。

NPO法人ぐんまリユース食器センターと、まきばプロジェクトが、県主催のイベントを通して、お互いの特技を活かして活動が出来た。

また客としても率先して参加した県職員が、この体験を通して、今後仕事や地域でどのように活かしていくのか。キッチンカーと福祉、リユース食器と文化など、拡がり実感でき、これからが楽しみになった。